

## 組織拡大委員会議事録

1. 日 時 令和4年10月21日（金） 15時～16時20分  
2. 場 所 春日井商工会議所 4階 会議室E・F

3. 出席者数 委員長 1名  
副委員長 1名  
委 員 5名  
事務局 5名  
合 計 12名

### 4. 議 題

1. 令和4年度の経過報告・今後の委員会について
2. 会員交流会の開催について

### 5. 議 事

事務局 伊藤 伊月

定刻に至り、開会を宣し奥村委員長に挨拶を求める。

委員長 奥村 久子

挨拶を述べる。

事務局 伊藤 伊月

委員会規程により、議長に奥村委員長を指名し、議長就任を要請する。

（委員長 議長に就任）

議長 奥村 久子

議事に入り、議題1について事務局に説明を求める。

事務局 松井 幸太

資料の1・2ページに基づき、会員数の推移と、4月から10月までの加入・脱会数について説明。会員数の推移の組織率の算出については、実情にあった数値へ変更したことを報告する。

議長 奥村 久子

資料1・2について、質問・意見を求める。

委員 水野 正弘

会員の退会について、建設業の退会理由について教えてほしい。

事務局 松井 幸太

廃業が一番多い理由となっている。特に一人親方に加入している方の廃業が目立っている。

議長 奥村 久子

続いて、今後の委員会について事務局に説明を求める。

事務局 松井 幸太

資料の3・4ページに沿って今年度の会員増強運動の実施内容及びスケジュールを説明。会員増強運動では、追加事業として、会員交流会の開催と会議所職員のスキル向上セミナーの開催することを説明。

議長 奥村 久子

今後の委員会について、第19期が10月31日で終わり、11月1日より新しい期が始まる中で、この委員会をどうしていくか、皆さんより意見を頂きたい。案としては、①10月31日で終了する、②令和5年3月31日で終了する。③第20期も新しい目標を立てて継続して委員会を実施する、のどれかになる。本委員会は総務委員会の下部組織として設置されており、野村委員長に来ていただいていることから意見を頂ければと思う。

総務委員長 野村 浩二

この組織拡大委員会が設置されたことで、どのような効果があったのかは、組織拡大委員会の皆さんのほうがよくわかっていると思う。逆に私からは、組織拡大委員会があったほうがいいのか、皆さんにお聞きしたい。

委員 宅間 秀順

会議所のこんなに良いところだということを伝えるアクションが必要であり、そのためには委員会はあったほうがよいと思う。会議所はもっと積極的に動かなければならない。

委員 青山 博徳

私は法人会の組織拡大委員会に在籍していたが、法人会では、各々の地区でノルマを設定し、ノルマ達成のために法人会メンバーが動いていた。会議所のこの委員会は、どちらかと言えば、事務局の報告や事業に対して意見を述べる場となっている。次のステップとして、より実働的に動けるような委員会にし

てもよいのではないか。

委 員 岡田 克己

加入の状況について、近隣の会議所と比較できる資料があるとよい。春日井が他の会議所と比べて加入率等が良いのか悪いのかどうか判断できる。

法人会では、大同生命の担当者と会員が一緒になって同行し、加入促進をしている。DM発送では効果がでてないため、より加入効果のあるような方法を行う必要があり、会議所でも会員事業所と職員が一緒になって加入案内ができる体制を作れないか。

事 務 局 白木 芳洋

昨年の委員会で、一度他の会議所との比較した資料を配布させていただいたが、春日井は比較的組織率ではよい分類に入っている。次回改めて最新の情報を提示させていただく。

委 員 森岡 一雄

アクサ生命保険は、春日井商工会議所とともに共済事業の普及に取り組んでいるが、人員が少ないこともあり、フォローが出来ていない状況である。

議 長 奥村 久子

会議所のフレッシュ共済を従業員にかけているが、結婚祝金はととてもありがたいと思っている。共済の加入状況はどうか。

事 務 局 松井 幸太

共済の加入事業所数は約860社加入いただいております、保険料収入としても会議所の大事な収益源となっている。

委 員 岡田 克己

このような活用事例の話をもっと多くの事業所できると良いと思う。

委 員 風岡 明憲

この組織拡大委員会が出来てから、会員数はこの3年純増を達成している。これは委員の皆さんからの意見の結果だと思う。総務委員会内で検討することもできるのではないかとと思うが、議案として挙げることも可能か。

事 務 局 白木 芳洋

総務委員会は各委員会の状況報告等がメインとなるため、委員会内でこのような議案を上程しても、深い議論に結びつきづらいと考える。事務局としては、

組織拡大委員会を継続していくことが良いと考える。第19期は10月31日をもって任期満了となるが、新しい委員会が動き出すのは、来年4月からとなることから、残りの期間で引き継ぎも含め、委員会を継続してはどうか。

委員 風岡 明憲

では、現在の組織拡大委員会は、来年3月31日まで継続し、4月からは新たなメンバーへ引き継ぎをしてはどうか。

議長 奥村 久子

この組織拡大委員会は3月まで継続していくこととする。

続いて議題2. 会員交流会の開催について、事務局に説明を求める。

事務局 松井 幸太

資料5に沿って、会員交流会の企画案について説明する。

委員 青山 博徳

交流会では、各グループでの名刺交換時等に取りまわすファシリテーターが重要になる。組織拡大委員会のメンバー等が入るなどして、うまく取り回しができるようにする必要がある。また、企業プレゼンのネーミングをもっとキャッチーなものしてはどうか。

委員 岡田 克己

このような交流会は多くのところでやっていると思うがなぜ行うのか。

事務局 松井 幸太

新型コロナウイルスの感染拡大により、この3年ほど当所として交流会を開催していなかったことと、今年度の事業計画に記載した日本商工会議所アドバイザーのセミナーの中で、定期的な交流会開催は会員メリットにつながるという話があり、今回企画をした流れとなっている。今回の開催結果等は改めて委員会内で報告をさせていただき、皆さんからの意見を踏まえながら、2回目の開催等に反映をさせていきたいと考えている。

委員 岡田 克己

実施については理解をした。先ほどの議長の話にあったように、共済等の事業を活用した事例セミナーを併せた交流会も良いと思う。

事務局 白木 芳洋

今回の会員交流会の企画については、次回の委員会時により詳細を皆さんに説明できるように準備を行っていく。

以上、終了

報告事項として、事務局の油谷より、BCP 策定支援説明会の案内を説明する。

風岡副委員長より閉会の挨拶

時に、16時20分